

茨木市中心市街地活計化計画(第1期)

中心商業機能の質の更新

omocafé+c

古民家を活用したカフェとハンドメイドの複合施設
本町商店街に令和4年5月オープン



創業者支援・小売店舗改修

飲食店舗や小売店舗新規創業や既存小売店舗の改修費補助 令和6年は計15店舗 (全体計65店舗)



滞在・活動の場の創出

えきまえマルシェ

JR茨木駅東口いばらきスカイパレットで実施する道路空間活用事業として、カフェの出店とともにマルシェやイベント等を開催することにより、市民が訪れ、集まりたくなる場を作り、賑わいの創出を図る。

- ・令和5年3月milk|stand|cafe elleオープン
- ・毎月第2土曜日開催、(毎月恒例のイベント)
- ・令和6年度は11回開催、直近は約600人が来場



茨木蚤の市

- ・令和3年から毎年秋に開催
- (場所) IBALAB@広場、元茨木川緑地、中央公園(南)グラウンド、おにクル(1階、大屋根広場、芝生広場)
- (内容) 手仕事品、骨董品、食品販売、ワークショップ等



おにクル・元茨木川緑地

令和5年に整備が完了し、市民の新たな活動の場が誕生した。



茨木市中心市街地活計化計画(第2期)

歩いて楽しい徒歩圏の実現

道路空間活用事業

JR茨木駅東口いばらきスカイパレットで実施する、えきまえマルシェのエリアを拡大するとともに、イベントを実施したい人を支援することで日常的な賑わいづくりを行う。

- ・IBARAKI MIDORINO MARCHE (多肉植物マルシェ)
- ・常設で営業するミルクスタンド近くでお試しマルシェ



魅力的な都市空間の整備・誘導

創業者支援・小売店舗改修

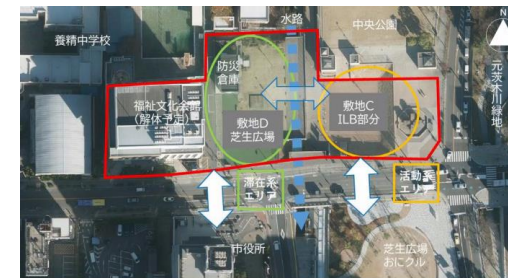
創業支援施策に引き続き取り組んでいくほか、潜在的創業者の発掘やターゲットに応じた創業支援、創業者のコミュニティづくりなど支援していく。



多様な主体が使いこなせるまちなかの実現

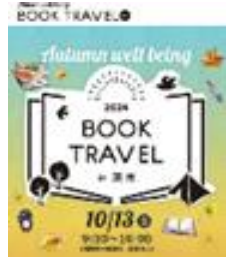
中央公園整備事業

更なる公園の魅力向上と利用者の利便性向上を図るためP-PFI制度を活用して整備。



多様な市民と事業者が関わる

多様な主体が公共空間を使いこなす。



ひと中心の茨木まちなか戦略

茨木のまちなかを楽しみ、使いこなすための10のスタイル

まちなかがもっと楽しくなる ←

→ まちなかをより使いこなせる



スタイル01
ぶらぶら歩くとき新しい発見がある



スタイル02
自転車でものんびり過ごせる



スタイル03
日常的に四季の変化を感じられる



スタイル04
このまちにしかないものがある



スタイル05
夜のいいにぎわいを感じる



スタイル06
思い思いに過ごせる場所がある



スタイル07
みんなで考え育てる場所がある



スタイル08
気軽にチャレンジができる



スタイル09
愛を持ってまちなかを応援する



スタイル10
いろんな人に紹介したくなる

茨木らしい幸せと豊かさを共感できるまちなか

そぞろ歩きを楽しめるまちなか

お気に入りの場所があるまちなか

だれかと共感しあえるまちなか